大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

支社	所在地	電話番号
大阪支社	〒550 大阪市西区千代崎3-2-95	TEL(06) 586-3200
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2-2-19	TEL(0722)38-1131
北部支社	〒569 高槻市藤の里町39-6	TEL(0726)71-0361
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2-3-17	TEL(0729)62-1131
兵庫支社	〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2	TEL(078)360-3100
京都支社	〒600 京都市下京区中堂寺粟田町1番地	TEL(075)311-7381
奈良支社	〒631 奈良市学園北2-4-1	TEL(0742)44-1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-5	TEL(0734)31-2481
兵庫西支社	〒670 姫路市神屋町4-8	TEL(0792)85-2221
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6-57	TEL(0796)23-2221
滋賀支社	〒525 草津市追分町荒堀680-1	TEL(0775)62-5311
滋賀東支社	〒522 彦根市大東町12-11	TEL(0749)22-3131
長浜営業センター	〒526 長浜市南呉服町3-4	TEL(0749)62-7171
本社・ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4-1-2	TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス元栓を閉め窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガス支社またはサービスショップにご連絡ください。

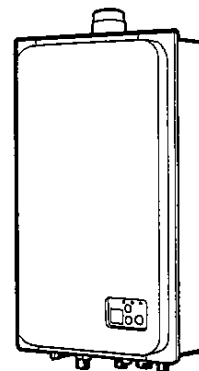
93.8.500(00)

ガス給湯器

わくわく16 パワフルミニ

33-399型　33-409型

型式名　YS1621SH　YS1622SH

取扱説明書

大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買求めの販売店にお問い合わせください。

T715

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買求めいただきありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

特長・機能のご紹介

シャワーリモコンを使えば、浴室内の出湯温度の切替がワンタッチ/ (別売部品)

万一の故障の場合でも原因がひと目でわかる異常報知(OKモニター)が付いて安心//

シャワー使用時一度止めた後、再びお湯を使うと、一時的に水が出る冷水サンドイッチ現象を緩和します。(33-409型の場合)

本体操作部に軽くタッチするだけで、約37℃～75℃の範囲でお湯の温度が設定できます。

●本体操作部の使いかたについては
☞ 10ページをご覧ください

シャワーリモコンを使って

シャワーリモコンをお使いになると、バスルームの中で直接シャワーの温度を調節することができます。
(別売部品)

●"シャワーリモコン"の使いかたについては
☞ 11～12ページをご覧ください

必ずお守りください

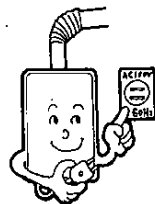
使用ガスについてのご注意

●使用ガスの確認

機器本体前面下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

●転宅されたときにも、供給ガスの種類と機器銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源のご注意

この機器はAC100V、50Hz・60Hz共用です。機器の銘板に表示してある電源(電圧・周波数)とお宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

機器の設置

●機器の設置・工事は、お買求めの販売店、または大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

ガス漏れ予防

●使用後は運転スイッチを「切」にしてください。

●使用中に、ガスのにおいや、不快なにおいがしないか、ときどき確かめてください。

火災予防について

●壁や可燃物等から十分離れている場所で！

●機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。

★特に、給排気トップは洗たく物などでおおわないでください。

やけどのご注意

●使用中および消火直後は、機器の排気筒が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

●シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは、手で湯温を確認してからお使いください。(一瞬熱いお湯が出ることがありますのでご注意ください。)

用途について

台所・シャワー・洗面などの給湯および風呂のお湯はり以外の用途には使用しないでください。

落雷のおそれがある時

●落雷による一時的な過電流で、電子部品が故障することがありますので、雷が発生しているときは、ご使用を中止して、すぐに電源プラグを抜いてください。

●その後、雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

飲用にお使いのとき

機器内に長時間たまった水は、飲用または調理に用いないでください。

太陽熱温水器と接続される場合のご注意

太陽熱温水器と接続された場合は、給湯器への給水温度が高くなりますので、以下の事項にご注意ください。

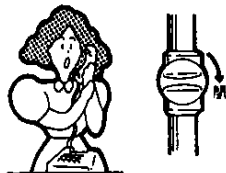
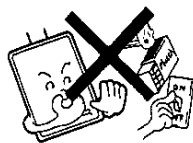
①入水温度が※1以下の場合には、点火し燃焼しますが、設定温度以上に湯温があがる場合があります。運転スイッチを「切」にして、混合栓で湯温を調節してお使いください。

②入水温度が※1以上の場合には、沸とうを防止するため点火しません。湯温調節もできませんので混合栓で調節してお使いください。(本体操作部等の燃焼表示もしません。)

(注) ※1は機器により異なります。(下表を参照してください。)

機器	33－399	33－409
※1	約55℃	設定温度とほぼ同じ温度 (注) 60℃、75℃設定の時は約50℃

●ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス栓を閉め、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電気機器に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。

●停電時の処置

●停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。

●再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。9～14ページの「ご利用のしかた」にしたがって操作してください。

●断水時の処置

●断水時は給湯栓を閉め、運転スイッチを切っておいてください。

●再通水したときは、9～14ページの「ご利用のしかた」にしたがって操作してください。

●異常時の処置について

使用中にふだんと違った状態になったときや、地震、火災の場合は、すぐ使用をやめて電源プラグを抜き、ガス栓を閉めてください。

●詳しくは17～21ページの「故障かな?と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。

●凍結に注意

冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため機器および配管内の水が凍って、機器や配管を破損することがあります。

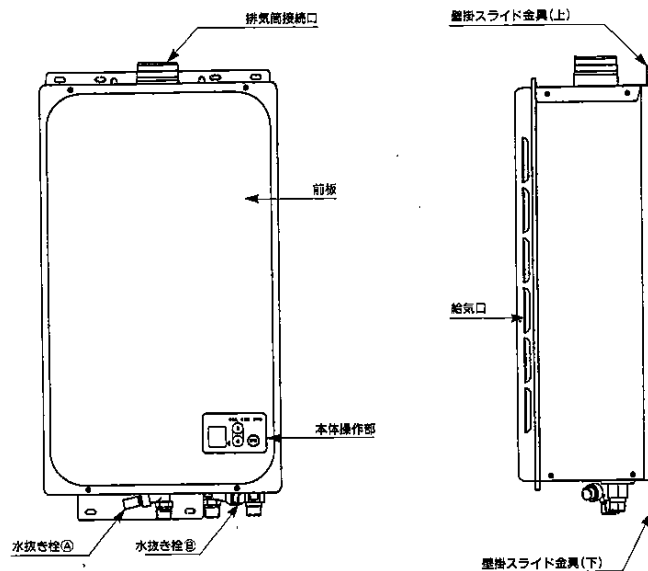
●詳しくは15ページの「凍結予防のしかた」の項にしたがって処置をしてください。

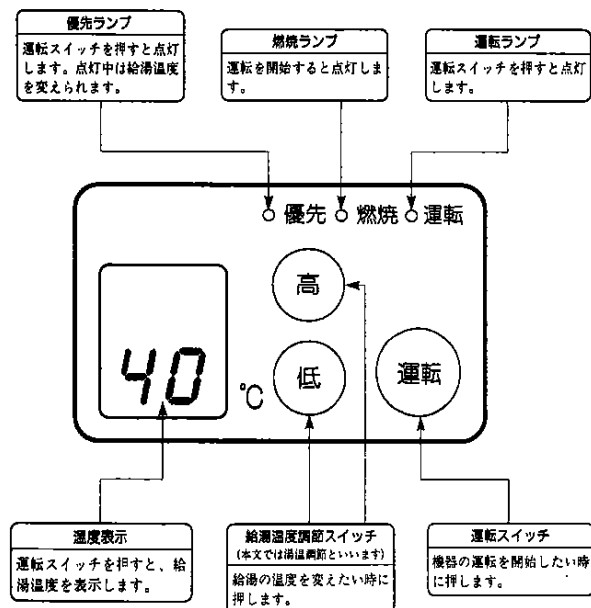
●長期間使用しない場合

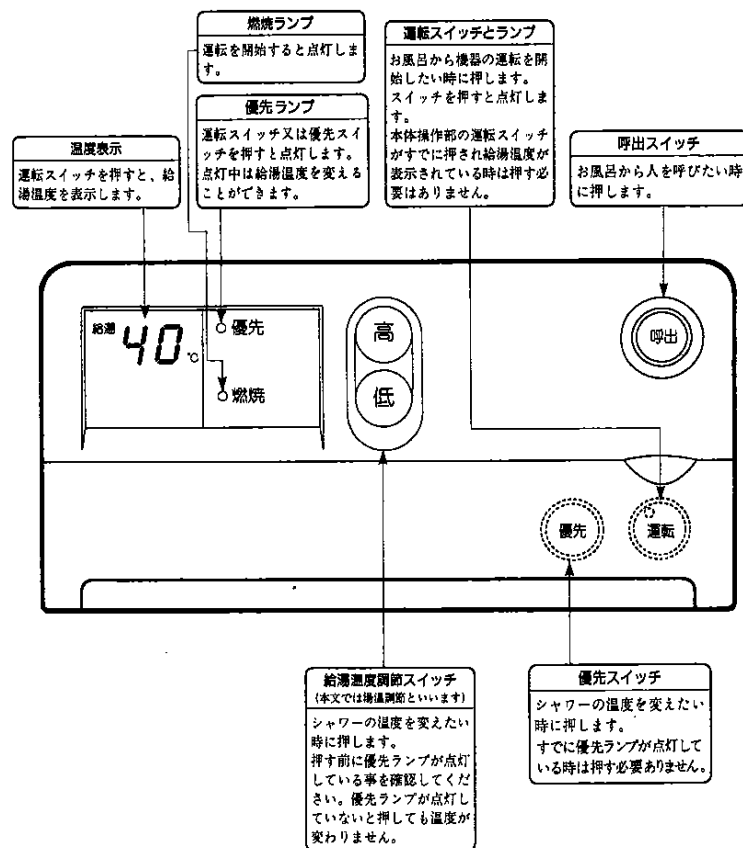
必ずガス栓を閉じ、電源プラグを抜いて15ページの「機器の水を抜く方法」を参照のうえ、水抜きを行ってください。

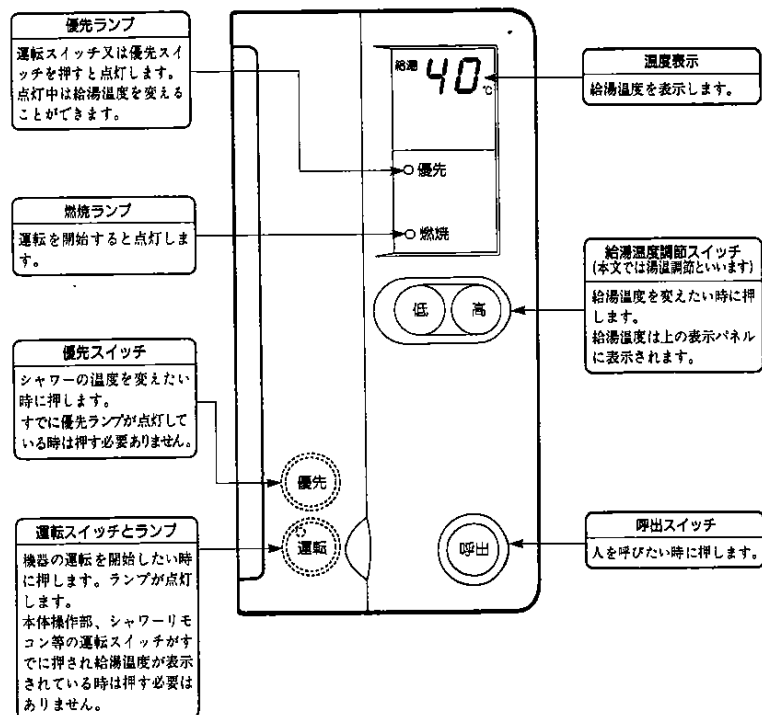
各部のなまえ

機器本体

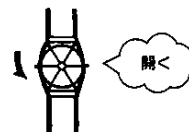
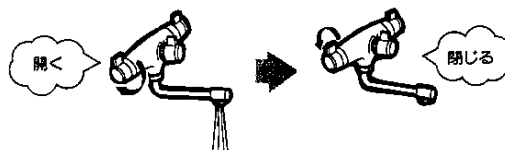
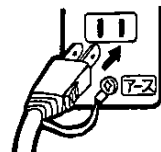
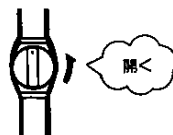
(図は33-399です)

本体操作部

※ご使用方法はP10をお読みください。

シャワーリモコン (別売部品)

※ご使用方法はP11～P12をお読みください。

サブリモコン（別売部品）

※ご使用方法はP13～P14をお読みください。

ご利用のしかた 初めてお使いいただくときに

●ご使用前の準備と確認

1 給水元栓を全開にする

2 給湯栓から水の出ることを確認

3 電源プラグをコンセントに差し込む

4 ガス栓を全開にする

点検・お手入れ

点検・お手入れの際のご注意

❶点検・お手入れの前には必ずガス栓を閉じ、運転スイッチを「切」にして機器が冷えてから行ってください。

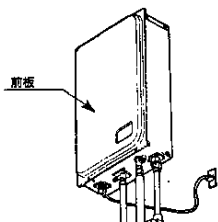
❷機器の前板などははずさないでください。
〔機器やリモコンは絶対に分解しないでください。〕

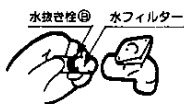
点検

❶機器の上や周囲に燃えやすいものを置いていませんか。

お手入れ

1 前板のそうじ

機器本体の外装のそうじは、やわらかい布に中性洗剤をひたし軽くふいてください。

2 水フィルターのそうじ

水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。その場合は給水元栓を閉め、水抜き栓Ⓑを左に回して水フィルターを引き出してそうじしてください。

3 リモコンのそうじ

リモコンのそうじは、洗剤等は使わず必ず十分水を絞った布で拭いてください。

点検・お手入れ後の確認

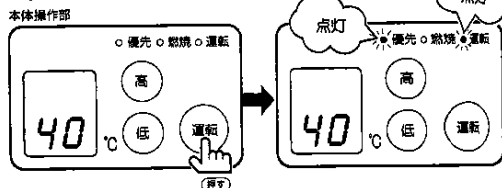
- 点検・お手入れの後は、運転スイッチを「入」にして、給湯栓を開き、機器が正常に作動しているか確認してください。
- 万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときは、お買求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、安全により長く、ご使用いただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。
- 本製品は、一般家庭用の製品です。
  業務用にご使用の場合は機器を正常にお使いいただくために、定期点検(年２回程度)をお受けください。(有償)
  詳しくは、お買求めの販売店または大阪ガス支社へご相談ください。

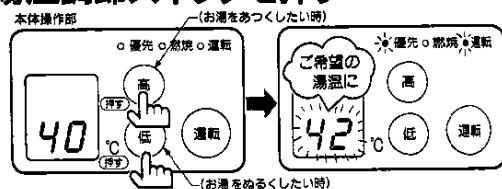
故障かな?と思ったら

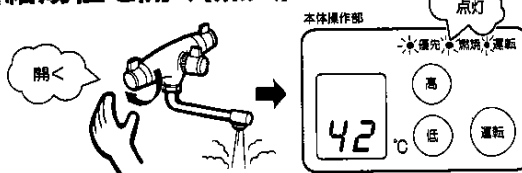
こんな場合は異常ではありません。

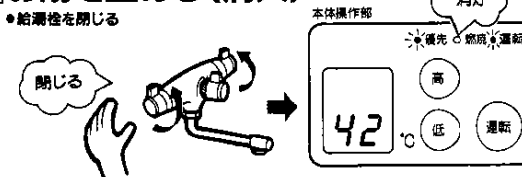
こんな場合	理由
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
燃焼ランプが点滅する。	初回点火時や長時間使用しなかった後は、ガス配管中に空気が入っていることがあり、バーナに着火しないときがあります。 一旦給湯栓を閉じて約５秒間待ち再び給湯栓を開いてください。
給湯栓を絞りすぎて水になった。	この機器は、水量が約３ℓ/min以下になったときには消火します。
低温のお湯が出ない。	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなることがあります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える。	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い全く無害なものです。
排気部から白煙が出る。	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
出湯停止後もファンの回転音がする。	再使用時の点火をより早くするためしばらく回転しています。
設定温度を高温に設定していても低めに変わる。	設定温度が高温のとき、運転スイッチの「ＯＦＦ」→「ＯＮ」または、優先スイッチの「切」→「入」操作をすると安全のために設定温度が低めに変わることがあります。 また、停電や電源プラグを抜いた場合、約５分間以上通電せず再通電後に運転スイッチを入れますと、給湯温度表示が40℃に変わります。
給湯水抜き栓から水がポタポタ出る。	給湯栓を閉じた直後一時的に過圧逃し弁より水がポタポタ出ることがありますが、機器内部の圧力をさげるためで異常ではありません。

1 運転スイッチを押す

● 初めてお使いの場合、停電後、電源プラグをコンセントに差し込み、運転スイッチを押しますと、パネルには40℃が表示されます。また、5分以上停電した場合も40℃の表示になります。
2の方法で再度お好みの温度に設定してください。

2 湯温調節スイッチを押す

湯温調節範囲	
37℃ ⋮ 50℃	1℃ごとに調節できます
60℃	
75℃	

● パネルに表示される温度は設定温度です。
実際に出てくるお湯の温度とは配管条件等により多少異なることがあります。

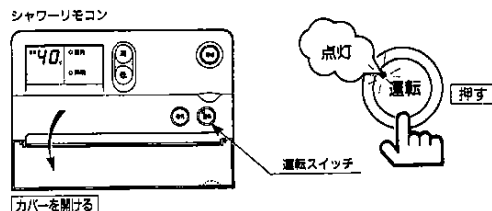
3 給湯栓を開く(点火)

● 給湯温度を75℃に設定している場合は、優先スイッチを入れたり、運転スイッチを一度切って再度入れると設定温度が60℃になりますので、再度設定しなおしてください。

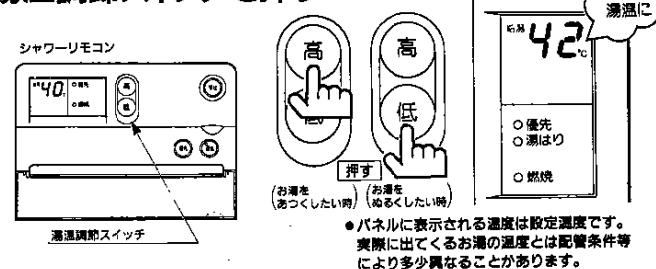
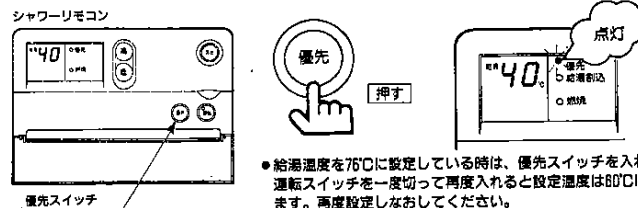
4 お湯を止める(消火)

● 給湯栓を閉じる

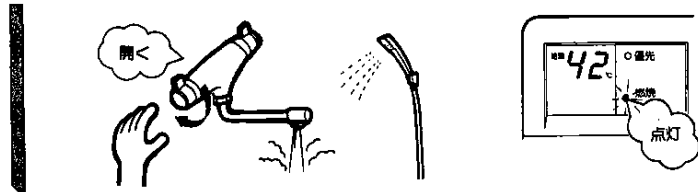
シャワーリモコンのつかいかた

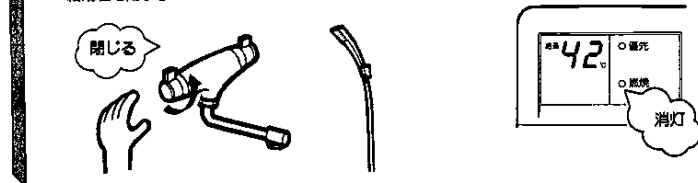
浴室でリモコン操作したい時にシャワーリモコンをご利用ください。

シャワーリモコンでは給湯温度の調節と呼出しアラームが操作できます。

1 運転スイッチを押す

湯温調節範囲	
37℃ ⋮ 50℃	1℃ごとに調節できます
60℃	
75℃	

2 湯温調節スイッチを押す

● パネルに表示される温度は設定温度です。
実際に出てくるお湯の温度とは配管条件等により多少異なることがあります。

● 給湯温度を75℃に設定している時は、優先スイッチを入れたり、運転スイッチを一度切って再度入れると設定温度は60℃になります。再度設定しなおしてください。

3 給湯栓を開く(点火)

4 お湯を止める

●給湯栓を閉じる

ご注意

●浴室でシャワー等ご使用される時は、優先スイッチを押し湯温調節を行ってからご使用ください。また、シャワーリモコンの優先スイッチを押し優先ランプが点灯している時は本体操作部による温度調節はできません。再度、優先スイッチを押すと、本体操作部の温度設定表示に戻ります。

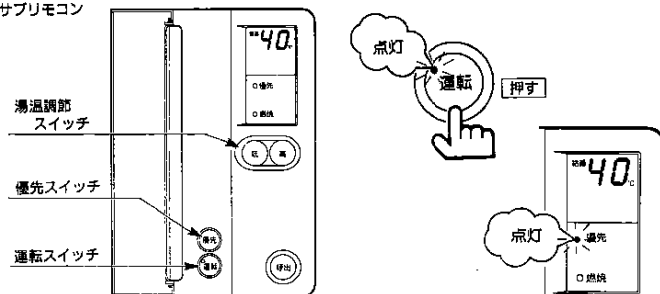
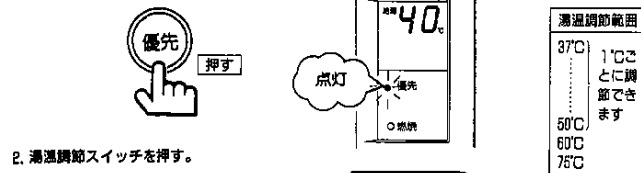
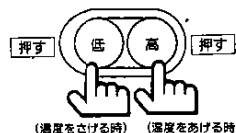
(例) 本体操作部で湯温調節を45℃にして、台所でご使用中に、シャワーリモコンの優先スイッチを押しシャワーリモコンの湯温調節を40℃にして、シャワーを使用すると、台所の湯温も40℃となります。

●シャワーリモコンの優先ランプが点灯している時、運転スイッチを「切」にして、再度「入」にした時優先ランプは消灯し、本体操作部の設定温度になります。

サブリモコンのつかいかた

台所や浴室以外にもう1箇所、別の場所でリモコン操作したい時に、サブリモコンをご利用ください。

サブリモコンでは給湯温度の調節と呼び出しアラームが操作できます。

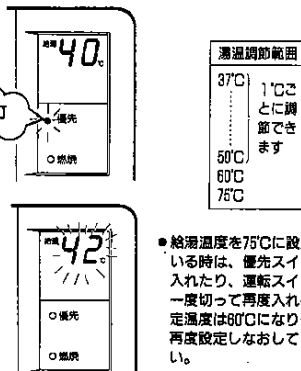
1 給湯温度の調節

1. 運転スイッチを押す。

点灯
40
優先
燃焼

湯温調節範囲

37℃ ～ 50℃ 1℃ごとに調節できます
60℃
75℃

2. 湯温調節スイッチを押す。

(温度をさげる時) (温度をあげる時)

●給湯温度を75℃に設定している時は、優先スイッチを入れたり、運転スイッチを一度切って再度入れると設定温度は60℃になります。再度設定しなおしてください。

ご注意

●洗面所等でご使用される時は、優先スイッチを押し湯温調節を行ってからご使用ください。また、サブリモコンの優先スイッチを押し優先ランプが点灯している時は本体操作部による温度調節はできません。再度、優先スイッチを押すと、本体操作部の温度設定表示に戻ります。

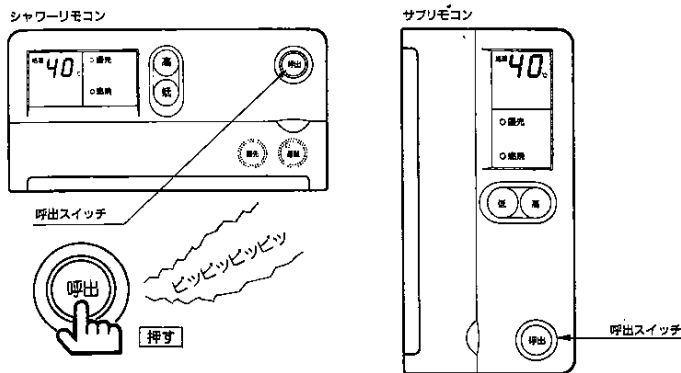
(例) 本体操作部で湯温調節を45℃にして、台所でご使用中に、サブリモコンの優先スイッチを押し、サブリモコンの湯温調節を40℃にして、洗面所等で使用すると、台所の温度も40℃となります。

●サブリモコンの優先ランプが点灯している時、運転スイッチを「切」にして、再度「入」にした時、優先ランプは消灯し、本体操作部の設定温度になります。

●呼出スイッチを利用すると、浴室などから人を呼ぶ必要が生じた時などに、声を出さずに知らせることができます。

●呼出スイッチを利用するには別売のシャワーリモコン、又はサブリモコンが必要です。

■呼出スイッチの操作

1 シャワーリモコン又はサブリモコンの呼出スイッチを押す。

ご注意　呼出スイッチを押すと設置されている全てのリモコンが同時に鳴ります。
（本体操作部も同時に鳴ります。）
押し続けていると、その間中鳴り続けます。

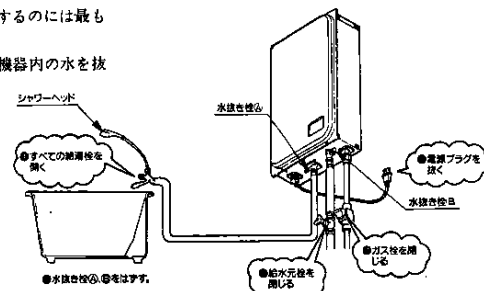
凍結予防のしかた

●凍結すると機器や配管が破損し、高額な修理費がかかる場合がありますので次のような処置をして凍結による機器の破損予防をしてください。

●凍結による修理は有料です。

ご注意
●この機器には、外気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータを組込んでいますが、外気温が極端に低くなりますと、この凍結予防ヒータだけでは十分とはいえません。
停電時や長期間使用しない場合および異常寒気のときは必ず次の方法で給湯栓から水を流すか機器の水抜きをして凍結予防を行ってください。
●凍結予防ヒータは電源プラグを抜くと作動しません。機器の水を抜く凍結予防を行うとき、または緊急の時以外は電源プラグを抜かないでください。
●凍結予防ヒータは運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

●機器の水を抜く方法
〈入居前や長期不在の場合もこの方法で水を抜いてください〉

●この方法は、給水配管の凍結予防はできませんが、機器の破損を予防するのには最もよい方法です。
下図の❶→❺の手順により機器内の水を抜いてください。

●給湯栓から水を流す方法

●ガス栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切り給湯栓から少量の水を流す。〔1分間に約200cc（牛乳ビン1本程度）〕

ご注意
●再度ご使用のときの手順
❶水抜き栓Ⓐ、Ⓑをしっかりと取付けてください。
❷給水元栓を開き、給湯栓から水が出るのを確認してください。
❸必ずすべての給湯栓を閉じてから9～14ページ「ご利用のしかた」にしたがってお使いください。
※上記の方法では配管やバルブ類の凍結予防はできません。
配管部分の水抜きをする場合には屋内止水栓を閉じ（水抜き栓がある場合は開ける）❸の給水元栓を開けた状態で水抜き操作を行ってください。

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

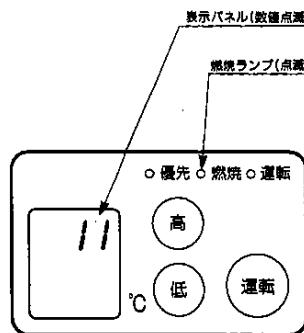
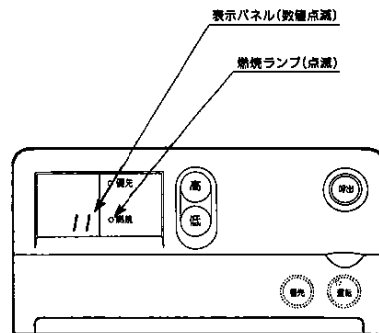
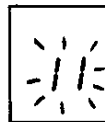
こんなとき(現象) ／ お調べいただくこと(原因)	着火しにくい。給湯栓を開いても着火しない、	使用中に消火した、消火しやすい。	使用中、湯温が極端に変動する。	高温の湯が出ない。	お湯が適温にならない。	処置方法	参照ページ
ガス栓の開きふじゅうぶん。	○		○	○	○	電源を切ってからガス栓を全開にする。	9
給水元栓の開きふじゅうぶん。	○	○	○		○	給水栓をいったん閉じてから給水元栓を全開にする。	9
水フィルターのつまり。	○	○	○		○	つまり除去又は点検、修理を依頼する。	16
断水している。	○	○				使用をいったん中止する。	4
凍結している。	○					解凍するまで使用を中止する。	—
湯温調節が適切でない。				○	○	「ご利用のしかた」参照。	10·11 13
給湯栓の開き不足。	○	○	○		○	給湯栓を全開にする。	10·12 14
停電している。	○	○				「停電時の処置」参照。	4

●処置や原因がわからないときは、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

●不完全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対にお客様自身でなさらないでください。

異常報知(OKモニター)について

●本体操作部や別売部品のリモコンには、機器本体に不具合が生じた時、各種ランプの点滅によって、不具合の原因を知らせる異常報知(OKモニター)機能が付いていますので、メンテナンスのスピード化に役立ちます。

本体操作部

シャワーリモコン(別売部品)

(例)

●不具合が発生すると、図のように燃焼ランプが点滅しはじめ、表示パネル中に数値が表示点滅します。

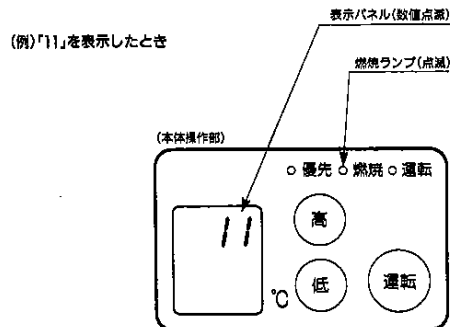
●表示パネルにどのような数値が表示されているか確認してください。

●次頁〝OKモニターの表示〟をご参照ください。

●図のように表示パネルが11と表示しているときは、OKモニターの表示中の「バーナ不着火」が原因であることが判ります。

故障かな?と思ったら

●OKモニターの表示をお調べください

この機器には不具合を生じたときにその内容を
OKモニターで知らせる機能があります。
下表の表示に応じた処置を行ってください。

表示	内容	処置
11	バーナ点火せず	運転スイッチをいったん切り、再度押して表示がでなければ使用できます。
12	バーナ途中消火	
21	過大風圧安全装置系統の不具合	★
31	給湯温度測定装置系統の不具合	★
32	給水温度測定装置系統の不具合	★
51	ガス電磁弁系統の不具合	★
61	燃焼ファン回転系統の不具合	★
76	リモコン系統の不具合	★
★印又は不明な場合は、お買求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。		

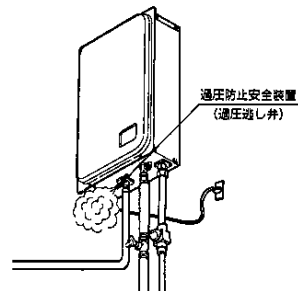
⑩安全装置の種類とそのはたらき

❶立消え安全装置
万一使用中にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❷過熱防止装置
使用中機器本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❸空だき安全装置
熱交換器が異常な温度上昇をしたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❹漏電安全装置(漏電しゃ断器)
この機器は、万一漏電した場合に漏電安全装置が働いて使用できなくなります。この場合、電源コードのプラグを一度抜き差ししてからご使用ください。
再度同じ現象が起きたときは、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

❺過圧防止安全装置(過圧逃し弁)
給湯栓を閉じた直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動して水がポタポタ出ることがありますが、機器の故障ではありません。この様な場合には床面をぬらしますので不都合が生じるときには過圧防止安全装置(過圧逃し弁)の排水処理が必要です。お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご相談ください。

❻凍結予防装置
15ページの「凍結予防のしかた」の項をごらんください。

❼過大風圧安全装置(風圧スイッチ)
強風による異常燃焼が発生する前にこの安全装置が働らいて自動的にガスを止めます。この安全装置が働いても故障ではありません。
強風がおさまるまで、しばらく使用を中止してください。

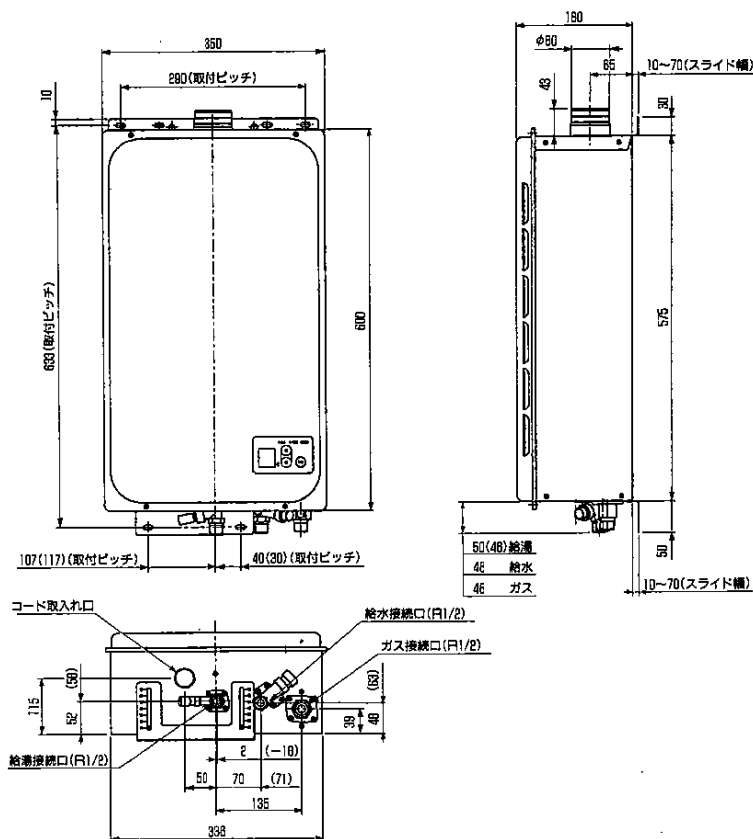
仕様

品名		ガス給湯器(瞬間先止め式)	
商品コード		33-399	33-409
型式名		YS1621SH	YS1622SH
種類	給(出)湯方式	先止め式	
	給排気方式	強制排気方式	
点火方式		連続スパーク、ダイレクト着火	
最低作動水量		3.0ℓ/分(作動水圧0.1kgf/㎠)	
排気温度		260℃以下	
外形寸法		高さ600㎜×横350㎜×奥行160㎜	
重量(本体)		21kg	22kg
接続	給水	15A(R1/2)	
	給湯	15A(R1/2)	
	ガス	15A(R1/2)	
電気	使用電源	AC100V(50/60Hz)	
	消費電力	90W	92W
	凍結予防運転時	108W	115W
排気筒		φ60(最大7m4曲)	
安全装置		立消え安全装置(フレームロッド方式)・水量センサ・過熱防止装置 空だき安全装置・過昇温安全装置・過圧防止安全装置(過圧逃し弁) 凍結予防装置(水抜き栓、凍結予防ヒータ)・過大風圧安全装置(風圧スイッチ)	
別売部品		●シャワーリモコン ●サブリモコン　●排気トップ　●配管カバー(460型)	

ガスの種類および グループ		1時間当りの ガス消費量 kcal/h	出湯能力ℓ/分 (ガス消費量最大時)		ガス接続
			上昇温度		
		最大	25℃	40℃	
都市ガス	13A	30,000	(16.0)	10.0	15A(R1/2)
LPガス		2.50kg/h	(16.0)	10.0	15A(R1/2)

備考　●出湯能力は給水圧力1kgf/㎠のとき。
●ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
●出湯能力(　)内は、湯水混合栓で混合した場合の数値です。

寸法図

(　)内寸法は33-409用です。

アフターサービス

サービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●**サービス（点検・修理）を依頼される前に**

「故障かな？と思ったら」（17～21ページ）の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買求めの販売店、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

●**ご連絡の際には次のことをお知らせください。**

1. 品名……………………ガス給湯器
2. 大阪ガス商品コード…機器の正面に貼付してあります。

例

(N)33-399
大阪ガス株式会社 05

3. 故障、異常の現象……できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

転居されるとき

●**ガスの種類の異なる地域へ転居される場合**

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。

保証・補修について

●**保証期間中は……**

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●**保証期間経過後の故障修理について**

お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

メモ